THE TOHOKU NICHINICHI SHIMBUN 昭和四年七月二日 (火曜日) 第百卅五号 (一)
(卅一日夕刊) 昭和四年二月廿九日 第三種郵便物認可

夕刊 東北日報

年中無休刊
本紙一ヶ月三十錢 郵稅五錢一部三錢
廣告料一行五錢 場所指定二〇錢增
發行兼編輯印刷人 石井孝
發行所 福島縣石城郡平町白銀町十番地東北日日新聞社 電七五七

社説

冷笑をまぬがれぬことになりはしないだらうか。

石城方部共濟委員會と平町會に於ける電燈料金三割値下げ問題の決議をしてゐることは周知の事實であり得るが、次いで第三聲を承はつた石城矯正會主催の電燈料金値下げの演說會が開催されるに到つたことは世相としても、時代思想の現實化としても面白い現象である若し、この運動が實際化して實行に着手したとしても、果して初期の目的を貫てつし得るか、どうかに就いては充分に考察し批判し得る餘地がないであらうか。

共濟會委員と、町會の決議とは時潮をみるといふ輕い意味での決議としたら、平三萬町民の總意の反映だとして考ふることも無理だとしたならその決議は空手形を發行したときと同じ結果のみが殘ることであらう。

言を替へて言ふならば決議が現實化しやうとする覺悟があれば、共濟町會合同の町民大會によつて決するのか當然であつて漫然たる決議と、會社側への交涉とはいたづらに無產政黨のスロ—ガンを借衣して得意がるといふ値下げそのものにはならないであらうことは決議した町議自身の意識に關くべきである。

—(續く)—

無届採取が減少し
一先ずホッ
とした處

今度は河川を荒す亂暴な採取者現る

手を燒いた監督所平署に取締り具申

平土木監督所では無届けに賴することにて砂利採取をなす者が多いので嚴重なる取締りをなし直接町村役場に取締りの徹底を依賴した結果無届けにて採取するものは減少したが今度は無届けの上に亂暴極まる採取をなし殊に好間川の

河原で

砂利を採取した者が亂暴に採取した爲め堤防が欠潰してゐる事實もあり其他にも河川を荒す樣な採取をした個所が多く監督所でも之れが取締りには全く手を燒き三十日平署に秒利採取について警察權をもつて嚴重取締つて貰いたいと依賴したが砂利の採取は郡內各方部に於て行はれてゐるので實際無届採取を取締ることは困難なので平署は郡役所に對して工事認可の促進縣補助交附について陳情をなした

補助と起債認可で

豐間有志出縣

豐間村では工費貳七千圓を計上して小學校を新築する事に村會に於て決議をなし縣に對して工事認可の申請をなしたが何等の指令もなく又本年度から着工の豫定であつた同村漁港の修築工事も交附されず着工出來ないので同村當選した同村大字大原某氏は同日午後一時頃飮酒泥醉を毆打したものであると尙ほこれが事實とすれば選擧違反ともなるべく平署は極秘裡に事實を調査中

反締る

だけでも一苦勞のところ亂暴なる採取を監督する事は至難なので監督所では之れがてつ底的取締りをなす爲めに警察に依賴して得意がるといふ

無免許周旋檢擧

內鄕村字峯根居住佐藤直治同村高坂坑々夫松浦丈助長女ユキ(二一)を埼玉縣北足立郡橫曾根村飮食店權田ハル方に無免許にて周旋した事平署に探知され一日檢擧された

△傳書鳩の迷子

高久村字神谷作鈴木泰輔は去る二十九日午前十一時頃及月見町根本房治は一日午前七時頃又南町星眼科醫院內某は一日午後二時頃何れも中野電信隊飼養の傳書鳩を捕獲したので平署に届出たが其の後江名町等に於ても二羽捕へた

屋根をむしられ
ビックリした各種團体
今一日團体長會議を開き
今後の對策を協議

平署の移轉が昨秋の縣會をされた爲め各種團體では非通過したので平署は遲くも常に面喰ひ一日午前十時より六月下旬に移轉するものとり團體長會議を開き善後策一般から觀測されてゐたがを講じたが一方町役場でも何にしろ移轉先である元郡從來郡會議室を公會堂とし役所には各種團體が執務して使用して來た關係から見て居り殊に各種團體の移轉て今俄かに公會堂を失ふは先が容易に決定せぬので延總てに差支へを生ずるのでびく〳〵になつてゐたが突如平町としても各種團體の移轉修工事が昨三十日より着手となつた

約束が違ふとて
候補者、有權者を毆る
被害者は箱崎吉彌氏

◆……平署事實を調査

去る二十九日執行された石城郡玉川村議改選に際して當選した同村大字大原某氏は同日午後一時頃飮酒泥醉を毆打したものであると尙ほこれが事實とすれば選擧違反ともなるべく平署は極秘裡に事實を調査中

箱崎は

隣家の關係で

てゐたが投票當時となつて他の候補者に投票する意志を灰めかした事を知り渡邊氏が憤慨したあまり箱崎氏を毆打したものであると尙ほこれが事實とすれば選擧違反ともなるべく平署は極秘裡に事實を調査中

官林拂下げの
關係者陳情

濱三各營林署に

濱三郡木炭同業組合長早川清久氏外三名。石城郡製材處に移轉するかは未知の問題なので兎角縣に對して今出縣すると

イ駄天の少年怪盜
平署に檢擧さる
山形地方を荒し廻り
其の足で福島炭礦を荒す

茨城縣東茨城郡長岡村生れて誰彼れの差別なく格鬪中かぶり豐吉は全治三週間住吉は十日間茂は五日間を要する大火傷を蒙り目下治療中であるが豐吉はなか〳〵の重態で富岡署では各關係者を召喚取調べ中である

富岡營林署
新設祝賀會

富岡營林署員歡迎並に新設置賀會は來る十日午後二時から同町公會堂に於て開かれるが管內各町村から多數の出席者がある筈で富岡町では協贊會を組織し大いに歡待に努むる筈

各種團体は
會議室に移轉
縣の命令により

(別項)平警察署の移轉に對する元郡役所改築工事が去る三十日より行はれたので同役所に事務所を置く各種團体長會議を開き協議を重ねたが一日縣當局から各種團體は取敢ず元郡役所會議室に移轉すべしとの公文書七時頃豐吉宅に於て飮酒酩酊の命令があつたので移轉する事にしたが然し其の後何の事業を視察する筈

双葉特信

酩酊格鬪の揚句

三名大火傷
一名は重態

双葉郡上岡村大字本岡字本町新田豐吉(二五)同所木田佐吉(五〇)同所望月茂(三〇)の三名は去る二十八日午後七時頃豐吉宅に於て飮酒酩酊の事から口論を始め遂に三人入り亂れ

中央通 西洋料理 丸昇軒 電話四三九番

商業勞働者は

家族制度を崩壊せよ

黒澤市之輔

現今に於ける商店從業員は何んの爲めに勞働爭議を起す樣になつたのか、何故に起さなければならなくなつたのか、商業勞働者と雖人間で有る以上は現在の世相に鑑み社會的に其の位置を見とめられなければならぬ。工場勞働者は其の規定により勞働條件も制定され一般よりも見とめられる樣になつたのである。

それに商業勞働者は昔からの家族制度と言ふ美名の元にかくれて安い賃銀で永い時間、酷使されつゝも當然の要求だに徹頭徹尾蹂躙せられてしまうのである。

それは第一に商店從業員の組織が無いからである。商業勞働者も組織体を持つて今までの家族制度を崩壊すると同時に現在資本家化する傾向に進みつゝある商業店主に對抗するの武器を作り、そして自己の生活安定の爲めにまい進するの時機ではあるまいか、商業勞働者の勞働條件を改善せんとするの一大使命を持つて勇敢に其の鬪爭を展開せんとするものは社會民衆黨あるのみである。

商業勞働者よ、自己の生活安定の爲にまい進しやうではないか。

血族結婚と失明

血族結婚はいろいろの恐ろしい結果を生みますから是非これをさけねばなりません。生れた子供がめくらになることも大變に多いので大正十五年の調査でも失明の十四パーセント八四までは血族結婚のためでした。それから大正十五年に二十七人の失明産兒をしらべましたのにそのうち二十人までは從兄弟の子供でした。また五人は遠緣のものです叔めいが一人更に從兄弟が一人といふことではありませんか。もはや學問上血族結婚はいけないことにわかつてゐるのですから充分氣をつけねばなりません。

正確ナ体温ハ寒暖計ニ關ス
關口藥局
電四〇二番

社告
社員二名募集
希望ノ者ハ履歴書持參午前九時マデ御來談アレ
但シ二十歳以上ノ者
東北日日新聞社

ラ寫
イ眞
ト館
田町大通り
電話七四八番

御酒は越後名産
飲むなら銘酒 寶山
平町土橋二八
粕取燒酎
味噌醬油
錦屋酒店
山野邊七郎
電話呼六六二番

磐城共濟病院組織
內科小兒科（院長毎日診療）
院長 醫學博士 難波睦
副院長 醫學士 五十嵐雄二
內科部長 醫學士 中西林藏
外科部長 醫學士 氏家憲介
毎日曜手術 醫學博士 桂重次
外科內臟科、整形外科、レントゲン科
產婦人科 女子泌尿科、レントゲン科
產婦人科部長 醫學士 五十嵐雄二
顧問 醫學博士 川添正道
X光線科
主任 醫學博士 難波睦
本院醫事法制囑託 法學士 岡蕃
本院主事 賀澤忠治
◇御大典記念事業トシテ
一、衛生試驗所（共濟病院內）
一、病氣相談所（共濟病院內）
一、救療所（共濟病院內）
平町磐城
電話六四一番
共濟病院
入院自炊ノ便アリ 看護婦見習募集

通學服
小學
一年生…八十錢 二年生…九十錢
三年生…一圓 四年生…一圓十錢
五年生…一圓二十錢
中學
一年…二圓四十錢 二年…二圓五十錢
三年 二圓六十五錢 四年…二圓七十五錢
五年…二圓八十五錢
◆……早賣り……安賣り……◆
正札堂

◆ドンナ重症デモノメバ直グキク
慢性淋病藥
特製リベール
一圓 二圓 三圓 五圓
四丁目 小野藥店
電話一四四番

外科一般（入院隨意）
內臟外科專門
花柳病科
平町六丁目（橋際）
木村外科醫院
電話三〇九番

◆醫藥界の驚異
飲まずに治るコリサ浸透療法
內野博士推奨
吉松醫師發見
定價 金四拾五錢 金九拾錢
外用 コリサ
主治効能 齒齦炎、齒痛、打身、肩コリ、丹毒わきが、田虫、毒虫の咬傷、草マケ
平町一丁目
大平屋藥舗
電話六四二番

安全第一
諸債券公債類ノ御用ハ是非……迅速簡易ヲモツトースル弊店ヲ精々御利用下サイ
營業 勸業債券 復興債券 公債其他 兩替 金融 質物一般取扱
課目
平町大工町 多田井商店

おなじみの昭和タクシーをおわすれないで下さい
電話はお好きな三四三番
平驛前

御求めに成るなら
確實なる商品
平町四丁目
時計 蓄音器 眼鏡
會田時計店
電話三六番
時計の修繕は正確にお直し致します

夏帽子と……ワイシヤツ
玉屋洋品店
平町田町通り 電話六五六番

夏物御案內
夏屏風 すだれ 藤イス 蠅帳
乳母車 藤卓子 小兒車
㊦式冷藏器製造元
㊥岩谷冷藏器代理店
㊦丸ほん家具店
營業所 平町三丁目 電話三五九番
製造所 平町新田前 電話七二三番

平町弁天町（縣社通り）
宴會席の設備あり
美味で評判の
イチ食堂
小宴會歡迎す
電話四六〇番